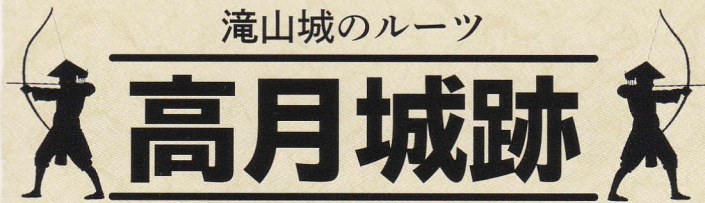


## 縄張り図



## 滝山城のルーツ



城主：大石定重

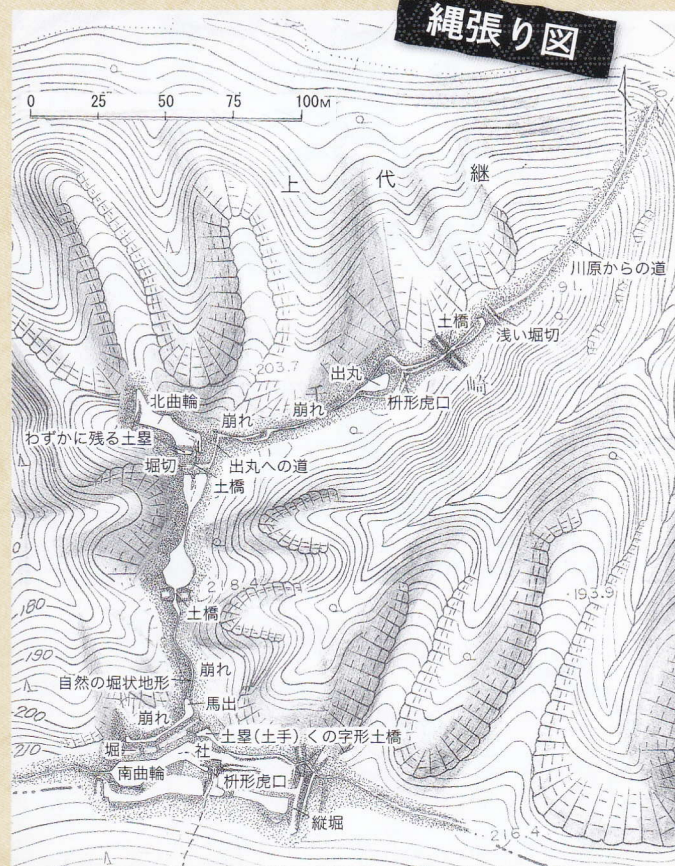
高月城跡は、大きく蛇行する秋川と多摩川の合流点近くに位置し、流れに突き出るような形になった加住北丘陵の自然の要害を利用した平山城となっています。武蔵国守護代大石氏により築城され、大石氏の勢力拡大に伴い手狭となった高月城から滝山城へ拠点を移したと伝えられていることから、高月城は滝山城のルーツになった城といえます。

※高月城跡内は、通路を除き民有地となっております。マナーを守って散策を楽しんでください。

## 現況図



## 縄張り図



## 自然の要害を活かした



(戸吹城跡)

城主：不明

北方に秋川が流れる加住北丘陵の断崖上に位置する根小屋城跡ですが、主郭部周辺は変形が進んでいるため、縄張の詳細が把握しにくく謎が多い山城です。直線距離にして180メートル程度の小さい平山城ではありますが、残存する堀や土塁の跡からは、自然の要害を最大限に利用していたことがうかがえ、少数でも効果的に守れるよう工夫された山城であったといえます。城跡内を通るハイキングコース「かたらいの路」では、周辺の風景を楽しみながら散策することもできます。

※根小屋城跡内は、急峻で両側が崖の尾根道が続いており、先端部へ行くにつれて崩落が進んでいます。危険な場所への立ち入りはお控えください。

## AR 滝山城跡



AR(拡張現実)を使って散策しながら滝山城跡の歴史が学べる無料の観光アプリ。都立滝山公園内10か所に設置されたARマーカーをスマートフォンやタブレット端末で読み取り、まわりの風景にかざすことで、約450年前に広がっていたであろう「戦国の名城・滝山城」の世界観が体感できます。下記のQRコードからアプリをダウンロードし、ロマン溢れる歴史ツアーへいざ出陣!!

※都立滝山公園内は電波状況が悪い場合がございますので、アプリのダウンロードは公園に入られる前にお済ませください。

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

